## 駅近ビッグプロジェクト

### 安満遺跡公園の整備が進行中　雨水貯留施設は今春、供用開始

濱田市長が１期目から取り組んでいるビックプロジェクトの一つが安満遺跡公園の整備です。
京大農場の跡地を中心とする面積約２１ヘクタール（甲子園球場５個分）の広大な公園が平成３１年に１次開園する予定です。

安満遺跡公園の地下に建設中の雨水貯留施設（写真）が、平成 29 年春に供用開始される予定です。同施設は、雨水管や水路からあふれそうになる水を引き込み、一時的に貯留（ピークカット）することで、下流域にある千代田町や宮野町などの市内南東地域において、近年頻発するゲリラ豪雨などによる浸水被害を軽減します。

**大人も子どもも楽しめる魅力がいっぱい**

★国宝級の史跡安満遺跡（弥生時代）を体感
★全天候型「子どもの遊び施設」
　（株）ボーネルンドが運営する、関西最大級の遊び場
★公園の拠点になるパークセンター
　体験学習室やランニングステーション（シャワー室など）
★レトロな京大農場本館を活用したレストラン

### 子どもたちの学力が向上
### 小・中学校ともに全教科で全国平均を上回る

平成 28 年度全国学力調査平均正答率

| 小学校 | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B |
|---|---|---|---|---|
| 高槻市 | 74.1 | 59.2 | 80.0 | 48.3 |
| 全　国 | 72.9 | 57.8 | 77.6 | 47.2 |
| （全国との差） | (+1.2) | (+1.4) | (+2.4) | (+1.1) |
| 大阪府 | 71.3 | 55.4 | 76.9 | 45.8 |
| （府との差） | (+2.8) | (+3.8) | (+3.1) | (+2.5) |
| **中学校** | **国語A** | **国語B** | **数学A** | **数学B** |
| 高槻市 | 75.7 | 66.9 | 66.9 | 47.6 |
| 全　国 | 75.6 | 66.5 | 62.2 | 44.1 |
| （全国との差） | (+0.1) | (+0.4) | (+4.7) | (+3.5) |
| 大阪府 | 73.5 | 63.3 | 61.7 | 43.1 |
| （府との差） | (+2.2) | (+3.6) | (+5.2) | (+4.5) |

濱田市長は就任以来、子育て支援とあわせて、教育環境のより一層の充実に力を注いできました。また、各学校でも、授業改善や連携型小中一貫教育の取組が進展してきました。そうした中、平成２８年度全国学力調査では、国語、算数・数学の全区分で全国平均を上回る結果となりました。

教育環境充実の取組
★小学校全学年で 35 人以下学級を導入 (1 学級平均 28.1 人 )
★ＩＣＴ機器を活用した教育の推進
★中学校において土曜学習支援事業を実施
★全中学校区において連携型小中一貫教育を推進
★中学校で完全給食を開始

## 健幸長寿 のまちへ

### ～「ますます元気体操」の輪広がる～

濱田市長も体操の効果を実感
（芝谷町中央公園で）

高槻市の高齢化率は２８％を超え、全国平均を上回る速さで進展しています。
健康寿命を延ばすことが、活力ある地域づくりに不可欠であることから、濱田市長は介護予防に効果的な、市オリジナルの「高槻ますます元気体操」の普及を進めています。
現在、市内約２００拠点で実施され、延べ約６，０００人が参加されるなど、体操の輪が着実に広がっています。
参加ごとに「健幸ポイント」が貯まり、記念品との交換もできます。
皆様もぜひ、体操の輪に加わっていただき、濱田市長と共に「健幸長寿」のまちを実現しましょう。

### ３月４日から
### 特急サンダーバードが停車

昨年の「特急はるか」の停車実現に続き、平成２９年３月４日からＪＲ高槻駅に「特急サンダーバード」が停車することになりました。
金沢駅まで乗り換えなしで約２時間３０分、北陸方面へのアクセスが大変便利になります。

「新たな飛躍をめざす市民の会」はホームページを開設しています。
はまだ剛史の活動報告やメッセージ動画を掲載していますので、是非ご覧ください。

ＵＲＬ　http://hamada-takeshi.jp/　はまだ剛史　検索

新たな飛躍をめざす市民の会 News Letter

# はまだ剛史とともに

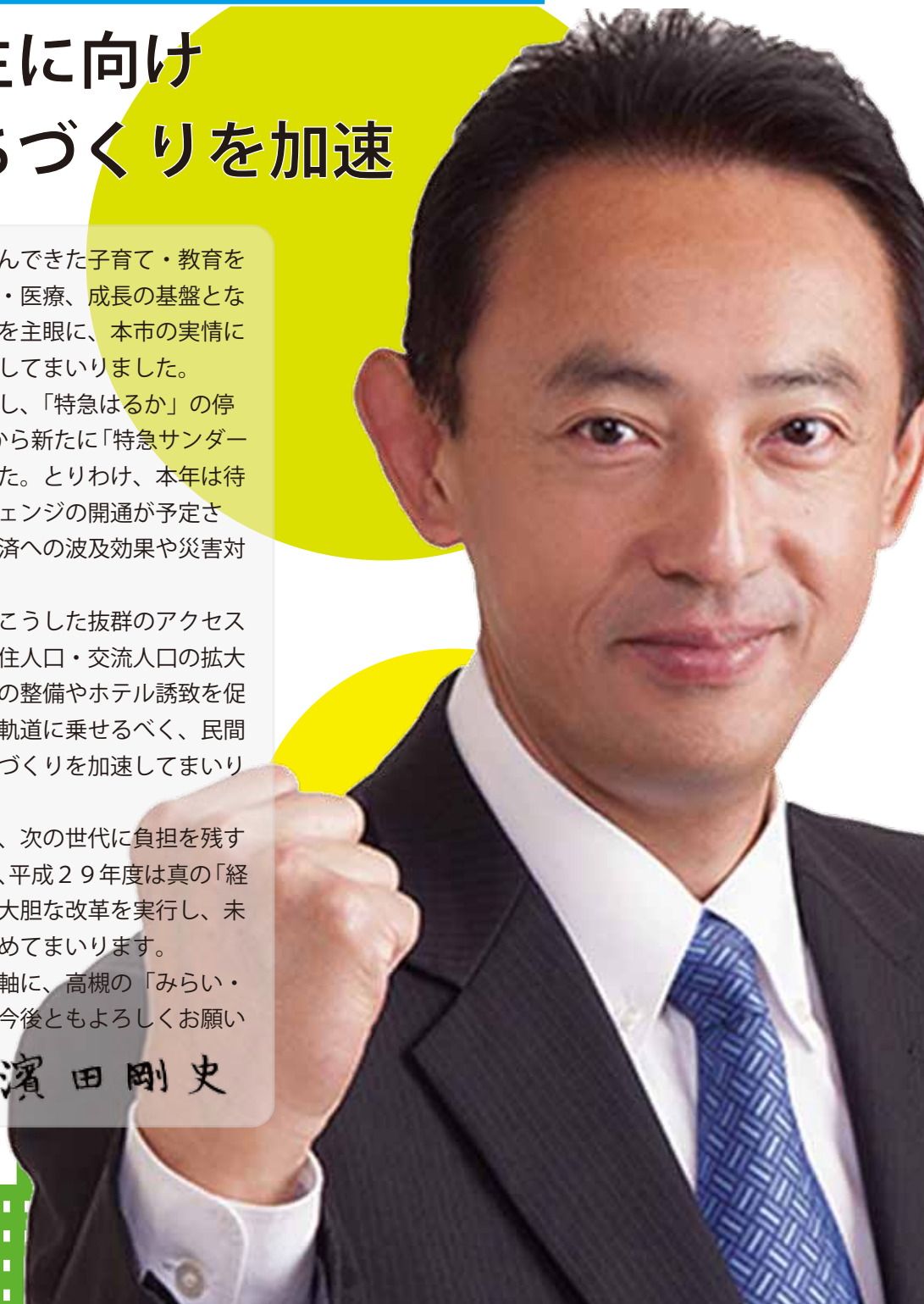
みらい 創生

第 11 号　平成 29 年 2 月

発行者：新たな飛躍をめざす市民の会　発行責任者：山本　政行
〒569-0071　高槻市城北町 1-14-6 荒木ビル４階南　電話・ＦＡＸ　072-674-1007

# 真の経営革新元年

## みらい・創生に向け
## 戦略的なまちづくりを加速



平成２８年度は、一貫して取り組んできた子育て・教育をはじめ、健康長寿社会に向けた福祉・医療、成長の基盤となる都市機能の充実など、安全・安心を主眼に、本市の実情に合った高槻らしいまちづくりを展開してまいりました。

ＪＲ高槻駅では、新ホームが完成し、「特急はるか」の停車が実現しましたが、来る３月４日から新たに「特急サンダーバード」も停車することになりました。とりわけ、本年は待望の新名神高速道路高槻インターチェンジの開通が予定され、交通利便性はもとより、地域経済への波及効果や災害対応力の一段の強化が期待されます。

２期目の折り返しとなる本年は、こうした抜群のアクセス性と魅力ある地域資源を活かし、定住人口・交流人口の拡大につなげるとともに、安満遺跡公園の整備やホテル誘致を促進させるなど、本市を安定した成長軌道に乗せるべく、民間活力も導入しながら、戦略的なまちづくりを加速してまいります。

また、２０年、３０年先を見据え、次の世代に負担を残すことなく輝く未来を引き継ぐために、平成２９年度は真の「経営革新元年」と位置づけ、柔軟かつ大胆な改革を実行し、未来志向の施策をより一層効率的に進めてまいります。

未来に責任を果たす市政運営を基軸に、高槻の「みらい・創生」に邁進してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

**高槻市長**　濱田剛史